

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 25 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 5 日 作成

事務事業名		庁用自動車管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部 総務企画部 所属課 企画財政課 所属班 財政班						
	施策	24	行財政改革の推進			課長名 濱田 善也 担当者名 米澤伸仁 (内線) 1233						
	基本事業	90	公有財産の管理運営			法令根拠						
予算科目	会計	1	款	2	項	1	目	7	事業連番	11174	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 10 コスト削減優先度評価結果 6-2
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S51 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
【事業の内容】 庁用自動車の効率的運用及び経費節減を図る。 【業務の流れ】 自動車共済への加入更新手続と掛金の支払い、交通事故発生時の事故状況報告、共済金請求、出張時の駐車場使用料の精算や高速道路(ETC)料金の支払い、管理担当課(カギの保管、整備状況の定期点検・洗車等)の決定、自動車用品の購入・支払い、車検・点検を行う担当業者の割り振りや車検整備費・自賠責保険料・車検手数料・リサイクル料・重量税の支払い、点検整備費の支払い、修繕費の支払い、燃料費の支払い、リース代(1台)の支払い等 【主な予算費目】 需用費(消耗品費、修繕費、燃料費)、役員費(保険、手数料)、使用料及び賃借料、公課費												

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 作成した「公用車台帳」をもとに、定期的な更新を行うとともに、「公用車削減計画」に基づく削減、「公用車更新基準」を満たす公用車について計画的な更新に取り組む。 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 庁用自動車の車検・点検ができるよう担当業者の割り振りや、自動車共済に加入し、交通事故による災害補償への対応を行った。また、共用自動車の貸出しと、車検・点検整備費、燃料費等の支払いを行った。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	・庁用自動車 ⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 台 → ア 庁用自動車台数 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・不都合なく安全に効率的に利用してもらう ⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 台 → ア 庁用自動車台数 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	目的に沿って適正に管理され、有効に活用されている。 ⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) % → ア 庁用自動車年間稼働率の平均 → イ ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % → ア 普通財産のうち売却等の処分をした面積の割合 → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 の み 記 載)  目 標 合 計 値 画  22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	8,856	6,521	8,274	7,653	8,950	8,274		8,274
	うち指定経費		千円								
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3		3
		延べ業務時間	時間	624	251	250	450	250	250		250
(B) 人件費計		千円	2,477	999	995	1,800	1,073	995	995		
トータルコスト(A)+(B)		千円	11,333	7,520	9,269	9,453	10,023	9,269	9,269		
活動指標	ア 台		74	76	74	74	71	69	68		
対象指標	ア 台		74	76	74	74	71	69	68		
成果指標	ア %		100	100	80	81	80	80	80		
上位成果指標	ア %		0	0	0	0	10	10	10		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 昭和50年頃から公用車を使うようになった。平成10年頃から旅費の抑制策として、公用車による出張が増加し、出張用車両が増加した。現在は、事業課等の専用自動車を除き、各課で分散管理していた車両を集中管理し、効率的な運用に努めている。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 ・合併により総台数が増加してきたため、適正な配置や効率的な運行がより一層求められている。  
 ・福祉部門の訪問事業に使用する庁用自動車が増加してきた。  
 ・リース車が増加して来た。  
 ・地球温暖化防止策から高燃費車や低公害車の導入の検討が必要となった。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 ・市長車の廃止に関する意見がある。  
 ・各課からは、業務遂行上、各課配置の専用車を増やしてほしいという要望を聞いている。また、老朽化している車両については燃費や安全面から買い替えが望まれている。

事務事業名	庁用自動車管理事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 支障なく、安全に、安心して利用できるようにすることは、目的に沿って適正に管理され、有効に活用されていることに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 職員が、公務に従事するために必要な庁用自動車の管理業務である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 達成状態を維持するものとする。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 適正な整備を行わなかったり、保険への加入を行わなければ、職員は、支障なく、安全に、安心して利用できなくなり、市の行政事務の遂行ができなくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・台数の抑制による削減 ・低燃費車への切替え、軽自動車、二輪車(バイク・自転車)への変更により維持経費の削減 ・職員保有の自家用車の活用などによる削減
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・台数の抑制による事務量の削減 ・リース車輛への切り替えによる車検等維持管理事務の軽減
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 職員が公務に従事するための庁用自動車管理業務である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 事業費、人件費とも削減余地がある。												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・軽自動車、二輪車(バイク・自転車)の活用へ変更する。 ・民間保険会社や他の共済との保険料比較を行ってみる。 ・民間会社などに車検手配、事故処理、保険請求等の事務を委託する。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・軽自動車は維持経費も安く、狭い道路等でも運転しやすい。 ・二輪車は文書決裁、訪問事業等一人で従事する場合には有効である。 ・全国市長会も同様の保険事業を行っている。 ・各職員が直接委託先と連絡調整するようしなければならない。
--

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	11	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )